





代表質問通告書一覧（12月7日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(1番) 亀田 忠彦 (自由民主党)</p>	<p>1 平成29年度予算編成について</p> <p>来年度の予算編成に向け、知事はどのような方針で臨むのか、その基本的な考えについて伺いたい。</p> <p>2 文化の振興について</p> <p>(1) 今年度中に策定予定の奈良県文化振興大綱について、基本的な考え方や方向性をどのように考えているのか。また、策定に向けてのこれまでの取組状況について伺いたい。</p> <p>(2) 歴史文化資源を核とした文化・芸術振興の拠点づくりに向け、(仮称)奈良県国際芸術家村の今までの取組状況と今後の進め方について伺いたい。</p> <p>3 興福寺中金堂の落慶を契機とした観光誘客について</p> <p>興福寺中金堂の落慶という歴史的、文化的に非常に意義のある催事を契機として、観光誘客につなげるべく、今後どのような取組を考えているのか伺いたい。</p> <p>4 県内スポーツ施設の整備について</p> <p>本県のスポーツ施設は老朽化が進んでいることに加え、全国大会などの大規模大会や集客力の高いプロスポーツが開催できる施設が不足していることが課題と考える。本県のスポーツを一層推進するためにも、中長期的な施設の整備計画が必要だと考えるが、知事の所見を伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(1番) 亀田 忠彦 (自由民主党)</p>	<p>5 なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）を核とした賑わいづくりの拠点整備について</p> <p>なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）とその周辺地域のポテンシャルを活かした拠点整備を進めるにあたり、先行して整備するセミナーハウスについて、知事はどのように考えているのか。</p> <p>6 県庁舎系施設南部地域再配置について</p> <p>公共施設管理の効率化・適正化を図るため、県では北部地域、中部地域で県庁舎系施設の再配置を行ってきたが、南部地域再配置計画についてはどのように進めていくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>
 <p>(37番) 粒谷 友示 (自民党奈良)</p>	<p>1 来年度予算について</p> <p>来年度予算において、県税収入の更なる確保に向け、どのように取り組んでいくのか、県政のどのような分野へ投資の重点化を図ろうとしているのか、伺いたい。</p> <p>2 リニア中央新幹線の整備促進について</p> <p>(1) リニア中央新幹線の整備促進に向けた各種調査の進捗など、現在の県の取組状況について伺いたい。</p> <p>(2) 駅位置の早期確定に向けて、県が中心となって、奈良県全体が一丸となって取り組んでいる姿勢を強くアピールすることが重要と考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>3 北陸新幹線敦賀・大阪間のルートについて</p> <p>知事は、北陸新幹線の学研都市経由ルートについて、財政負担に見合うメリットがないことに加え、リニア中央新幹線との接続の観点からも、反対されたと聞き及んでいるが、その真意を伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(37番) 粒谷 友示 (自民党奈良)</p>	<p>4 学研高山地区第2工区について</p> <p>学研高山地区第2工区の発展は、奈良県の地方創生に欠かすことのできない重要な施策と思うが、県としてどのような対応を考えているのか。</p> <p>5 道路整備について</p> <p>渋滞の解消に向け、早期に効果が発現できる、交差点改良などの既存道路の改良を積極的に進めるべきと考えるが、その対策のひとつである辻町ICのフルランプ化の進捗はどうか。また、1日も早く完成させるべきと考えるが、知事の決意を伺いたい。</p> <p>6 いじめ問題について</p> <p>本県の子どもたちのいじめの状況はどうか。また、今後、スクールカウンセラーをはじめとする専門的知識や技能をもつ外部人材の活用の一層の充実を含めて、県教育委員会として、いじめの問題にどのように取り組んでいくのか。</p> <p>7 生駒警察署の建替えについて</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>教 育 長</p> <p>【 要 望 】</p>
 <p>(20番) 阪口 保 (創生奈良)</p>	<p>1 「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」にかかる随意契約について</p> <p>(1) 「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」のロゴマーク、公式ポスター、イメージソング、マスコットキャラクターを全て随意契約することで、奈良県在住の方が応募する機会を奪われたことに対する、知事の所見を伺いたい。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(20番) 阪口 保 (創生奈良)</p>	<p>(2) なぜ、マスコットキャラクターは「せんとくん」なのか、その理由を伺いたい。 また、マスコットキャラクター「せんとくん」のデザイン料・コスチューム費用に約300万円が支払われているが、今までの「せんとくん」のデザインを使わず、新たに国民文化祭用に「せんとくん」を制作する必要があったのか。</p> <p>2 「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」のロゴマークについて</p> <p>(1) 財務省通知「公共調達の適正化について」に即すると、「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」ロゴマークの随意契約は適正化に反し、また、地方自治法施行令に抵触すると考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 他府県の事例を鑑みて、ロゴマークの著名人への随意契約による高額な業務委託は慎むべきだったと考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>3 奈良大立山まつりについて</p> <p>(1) 県職員が平成27年9月16日と同年9月24日の2回にわたり、公募型プロポーザルの結果、四天王大立山の原型制作を担った彫刻家の籾内佐斗司氏と籾内氏のマネジメント会社である青山美術株式会社において面談し、大立山まつりの内容について協議した行為は、入札談合等関与行為防止法第8条に抵触すると考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 県職員が平成27年9月16日及び9月24日に出張した際の復命書が、なぜ存在しないのか、その理由を伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(20番) 阪口 保 (創生奈良)</p>	<p>(3) 知事は、藪内佐斗司氏から献金を受けとり、献金をした人物が四天王大立山の原型制作者になるようにしている。このような構図は、知事への税金の還流であると考えますが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>4 生駒市西松ヶ丘住宅地の砂防指定地における無許可の盛り土問題について</p> <p>盛り土にかかる調査に着手から半年が経ったが、調査結果に基づく、今後の具体的な対策についてお聞かせください。</p> <p>5 県立畝傍高等学校プールにおける飛び込み事故にかかる専決処分と今後の事故防止について</p> <p>議会に対する十分な説明がなく、本事案にかかる専決処分が行われたことについての所見、並びに事故原因の分析や今後の学校での事故防止についての対応を伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>教 育 長</p>
 <p>(42番) 今井 光子 (日本共産党)</p>	<p>1 自衛隊の駆け付け警護について</p> <p>(1) 安倍政権になって軍事費は伸び続け、ついに5兆円を超え、社会保障や地方自治体に大きな影響を及ぼしている。知事は、地方行政の責任者として、自衛隊の撤退と憲法の範囲での平和的支援を行うよう国に求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 奈良県と五條市、県南部の3町8村は、10月31日、「県南部陸上自衛隊駐屯地誘致推進協議会」を設立し、駐屯地の誘致に関する要望書を防衛省に提出することを全会一致で決議したと聞いているが、要望はいつ提出されたのか、また、要望に対する防衛省の見解はどのようなものだったのか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(42番) 今井 光子 (日本共産党)</p>	<p>2 祭りイベントと地域の活性化について</p> <p>(1) 平城宮跡で行われた「平城京天平祭」、「奈良大立山まつり」では、昨年度、4億6千万円の県予算が使われているが、これらのイベントでどれくらいの集客効果や経済効果があったのか。</p> <p>(2) 元観光庁長官で現在大阪観光局長の溝畑宏氏は、「訪れる人、迎える人、その地域の人々が幸せにならなくては観光とは言えない」と言っていた。奈良の観光も、この視点から見直す必要があると考えるがどうか。</p> <p>3 部落差別の解消の推進に関する法律案について</p> <p>(1) 新たな部落差別を作る危険な法案は、廃案にすべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 奈良県では、同和対策特別措置法の終結に際して、どのような総括をされたのかを伺いたい。</p> <p>4 過労死を生み出さない働き方改革について</p> <p>(1) 奈良県庁の職場における36協定では、何時間を上限にしているのか。また、まだ36協定を結んでいない職場は何が課題で協定を締結していないのか、その実態を伺いたい。</p> <p>(2) 長時間労働をなくすため、県はどのような改革に取り組んでいるのかを伺いたい。</p> <p>(3) 奈良県においても、教員の長時間労働をなくすために、部活動の実態を把握した上で、「週1回以上の部活を行わない日」を義務化すべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(42番) 今井 光子 (日本共産党)</p>	<p>5 就学援助制度について</p> <p>就学援助制度のうち、特に「新入学児童生徒学用品費」について、実施主体である市町村は、保護者への支給金額及び支給時期を、実態に見合うよう見直すべきと考える。この点について教育長の考えを伺いたい。</p> <p>6 後期高齢者医療制度について</p> <p>保険料の軽減特例措置の廃止や高額療養費の自己負担限度額の引き上げなど、受診抑制につながるような改悪をやめるよう国に働きかけるべきと考えるがどうか。</p>	<p>教 育 長</p> <p>健康福祉部長</p>